

留 学 報 告 書

記入日:2015年04月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部 機械工学科
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: アルバータ大学 現地言語: University of Alberta
留学期間	2015年09月～2015年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	工学部
帰国年月日	2015年04月07日
明治大学卒業予定年	2015年03月



留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9 月上旬～12 月下旬 2 学期:1 月上旬～4 月下旬
学生数	39,000 人
創立年	1903 年

留学費用項目	現地通貨 (CAD)	円	備考
授業料	0	0 円	授業料は免除される
宿舍費	1,280	122,000 円	毎月 320CAD
食費	400	38,000 円	毎月約 100CAD
図書費	0	0 円	
学用品費	50	4,700 円	
教養娯楽費	0	0 円	
被服費	100	9,500 円	
医療費	0	0 円	
保険費	152	14,500 円	形態:健康保険
渡航旅費	2,335	222,000 円	
雑費	1,500	143,000 円	旅行など
その他	148	14,000 円	1 学期の交通費
合計	5,965	567,700 円	

渡航関連

渡航経路:クアラルンプールー香港ーバンクーバーエドモントン

渡航費用

チケットの種類 Cathay Pacific (Economy)

往路 122,000 円

復路 100,000 円

合計 222,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

www.momondo.com

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍など)

マンション

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 9)

3)住居を探した方法:

留学先で勉強している知人の手伝い

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一人暮らしではなく他の同居人と一緒に住んでいるので、本当に楽しくて、寂しさはあまり感じませんでした。滞在先を探すときには、できるだけ留学先で勉強している先輩や知人等に頼んだ方が良いと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか？ 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

- 利用する機会が無かった
 利用した：大学内の医務室があります

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ビザや生活などの問題があったら、International Student Services に連絡すること。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？

盗難などに巻き込まれたことはありませんでした。大学周辺はかなり安全ですが、夜になったらエドモントのダウンタウンには出かけない方が良いでしょう。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学周辺では Wi-Fi のサービスがあるので、学生には便利だと思います。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか？ (例：現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

マレーシアの銀行のキャッシュカードを利用して、お金を引き出すことができます。長期旅行するときには、ほとんどクレジットカードを利用しました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特にありません。

進路について

1) 進路

- 就職 進学 未定 その他：

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

ペトロナスというマレーシアの国営石油会社から奨学金をもらっているの、契約として卒業後マレーシアに帰り、ペトロナスで働くことになっています。

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

日本での就職活動をする予定はありませんので、特にアドバイスする立場ではありません。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 4 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Heat Transfer		伝熱工学
科目設置学部・研究科	工学部	
履修期間	1 学期(4 か月)	
単位数	3.5	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(週 3 回)、ゼミ(週 1 回)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 3 回	
担当教授	Petr Nikrityuk	
授業内容	伝熱工学の基礎と応用について学ぶ。実際の工業における問題解決も取り上げられる。	
試験・課題など	レポート課題(20%)、中間試験(30%)、期末試験(50%)	
感想を自由記入	先生は優しく、学生をきちんと手伝っている。きちんと復習すれば試験はできると思う。レポート課題は合計 8 つあるが、授業の内容を理解するために非常に役に立つ。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Reliability Engineering		信頼性設計
科目設置学部・研究科	工学部	
履修期間	1 学期(4 か月)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義	
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回	
担当教授	Zhigang (Will) Tian	
授業内容	信頼性設計の基本及び実例の問題解決について学ぶ。	
試験・課題など	レポート課題(25%)、中間試験(30%)、期末試験(45%)	
感想を自由記入	原則としては大学院生向けの授業だが、学部生でも履修できる。内容は確率・統計の知識の取り扱いが多い。難しさは中レベル。先生は中国出身なので、英語の話し方はそんなにうまくないが、質問をすると丁寧に教えてくれる。期末試験はやや難しかった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Numerical Simulation of Mechanical Engineering Design		機械設計の数値シミュレーション	
科目設置学部・研究科	工学部		
履修期間	1 学期(4 か月)		
単位数	4.5		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(2 回)、Laboratory(1 回)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	David S. Nobes		
授業内容	3次元CADのソフトウェア(SolidWorks)を利用して、機械設計およびシミュレーションについて学ぶ。		
試験・課題など	毎週の課題(55%)、中間プロジェクト(10%)、期末プロジェクト(35%)		
感想を自由記入	3次元CADのソフトウェアを利用して、初めて簡単な機械設計およびシミュレーションについて学び、非常に面白かった。毎週の課題にはエンジニアリングレポートを提出することで、英語のレポートの書き方も勉強になった。期末プロジェクトではグループごとにF1カーのシミュレーションを行い、大変面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Mechanics and Design for Composite Materials		複合材料の力学と設計	
科目設置学部・研究科	工学部		
履修期間	1 学期(4 か月)		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義		
授業時間数	1週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Pierre Mertiny		
授業内容	複合材料の概論および解析について学ぶ。		
試験・課題など	グループ課題(15%)、中間試験(20%)、期末試験(50%)、グループプロジェクト(15%)		
感想を自由記入	大学院生向けの授業だが、学部生でも履修できる。内容的には実際の工業世界ではよくあるので、非常に勉強になった。先生の教え方は丁寧でわかりやすかったが、採点はかなり厳しかった。課題とプロジェクトはグループで完成しないといけないので、信頼できるグループメンバーを選ぶ必要があると思う。試験の難しさは中レベル。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2012年 1月～3月	
4月～7月	海外留学の手引きで興味がある協定学校の条件をよく理解した。 TOEFL 試験を6月頃に受けた。
8月～9月	留学の経験がある先輩たちに相談していた。 奨学金の会社にも留学の希望を伝えていた。
10月～12月	留学説明会に参加した。 学科の先生たちや理工学部の事務室とよく相談した結果、留学しようと決定。 協定留学を申し込んで、12月に学内選考の面接が行われた。
2013年 1月～3月	1月中旬に学内選考に合格。 2月に国際事務室を通してアルバータ大学へ出願。
4月～7月	5月に入学許可書が届いた。 カナダの滞在ビザを申し込んだ。 留学先で勉強している友人に住宅の探しを頼んだ。 飛行機チケットも7月下旬に購入した。
8月～9月	8月上旬にビザを取得。 8月の下旬にカナダへ出発。 9月3日に秋学期が始まる。
10月～12月	10月の中旬に中間試験が行われた。 12月3日に授業が終了。 12月15日までに期末試験。これで、秋学期が終了。
2014年 1月～3月	カナダとアメリカを3週間ぐらい旅行してから母国マレーシアに帰国。 1月から3月までインターンシップをしていた。
4月～7月	日本に戻った。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	日本と異なる環境で経験したかったためです。他の国に滞在することでその国の文化や環境などに触れ合えるので、自分の視野や考え方が広がると考えました。英語の能力も上達させるために、英語が中心となる国を希望しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力が一番大事です。読解力、聴解力、作文力、会話力すべて大切になってきます。特に理系の学生としては、留学先の言語で専門用語を前もって勉強すれば役に立ちます。授業では先生がどんどん専門用語を使って説明するので、それがわからないと授業の内容が理解できません。
この留学先を選んだ理由	アルバータ大学はカナダで一つの有名な大学で、世界ベスト100です。特に工学の分野は優秀な先生たちや学生たちが集まっているので、学習や研究するために非常に良い環境です。またマレーシアからの友人が勉強していたため、色々手伝ってくれる人がいたことも理由でした。
大学・学生の雰囲気	キャンパスは非常に広くて、学部と学科も多くあります。図書館やパソコン室はほとんど24時間開いています。勉強する場所もたくさんで、静かなところもあるし、グループ相談できるところもあります。サークルや部活もキャンパス内で活発に活躍しています。
寮の雰囲気	マレーシアからの留学生と一緒にマンションを借りていました。マンションは2階で、かなり大きいタイプのマンションです。台所や居間もありますし、最適な環境でした。
交友関係	留学生向けのオリエンテーションに参加した時、積極的に色々な人と話しかけたので、知り合いが増えていました。授業ではあまり友達が見つかりませんでした。グループプロジェクトでかなり相談することが多く、英語の練習ができました。ムスリム協会のイベントも何回か参加して、幅広い知り合いができました。
困ったこと、大変だったこと	留学中にはあまりトラブルはありませんでしたが、留学の準備はかなり大変でした。書類が不備のため、一回目のビザ申込が拒否されました。出発1ヶ月前だったので、ビザの取得がカナダへの出発に間に合うかどうか心配でした。
学習内容・勉強について	取った科目はすべて機械工学の専門科目で、楽しく勉強できました。マレーシアではずっと英語で勉強していたため、授業の内容を理解する上で問題は特にありませんでした。逆に、日本語よりわかりやすかったと思います。しかし、最初は不慣れのため、授業内容の理解は大変でした。先生たちに質問して丁寧に教えてくれたおかげで、理解することができました。
課題・試験について	課題は思ったより量が多くて、難しかったです。特にシミュレーションの課題は毎週あったので、ソフトウェアでシミュレーションを行い、レポートも書かないといけません。期末の時にグループプロジェクト、課題、試験全部重なってしまったので、非常に忙しい時期がありました。
大学外の活動について	マレーシア留学生協会やムスリム協会のイベントに参加して、色々な知り合いができました。また、連休の時には旅行したり、ハイキングしたりしていました。
留学を志す人へ	留学というのは自分を見つけることです。留学前、留学中、留学後に至るまで、必ず大変なことが山ほどあります。その大変さを自覚していても、よく反省もさせられましたが、これにより自分も早く成長することができました。留学は容易なものではないですが、貴重な経験が待っています。挑戦が好きな人こそ、留学に臨んでください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
	課題	課題	課題	課題		課題	課題
午後	Heat Transfer 「伝熱工学」の授業	Numerical Simulation in Mechanical Engineering Design 「機械設計の数値 シミュレーション」の 授業	Heat Transfer 「伝熱工学」の授業	Numerical Simulation in Mechanical Engineering Design 「機械設計の数値 シミュレーション」の 授業	Heat Transfer 「伝熱工学」の授業		スーパーで 買い物
		Heat Transfer 「伝熱工学」の セミナー			Numerical Simulation in Mechanical Engineering Design 「機械設計の数値 シミュレーション」の 演習		
夕刻	Reliability Engineering 「信頼性設計」の 授業	体育館で 運動		Mechanics and Design for Composite Materials 「複合材料の力学 と設計」の授業		体育館で 友達と バドミントン	
夜							